

# RPJ News

2025年3月号

ホームページ <http://www2.ttcn.ne.jp/ref-pj/>

特定非営利活動法人(NPO法人)

精神保健福祉交流促進協会 Refresh Project

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋2-17-7-801

毎月1回発行

発行責任者：志井田美幸 / 長野敏宏 / 仁木守

E-mail [ref-pj@mx5.ttcn.ne.jp](mailto:ref-pj@mx5.ttcn.ne.jp)

## 内容

### \* 2025年度総会結果報告

### \* 2025年度総会結果報告

日時：2025年3月17日 18時～19時

場種：ZoomによるWeb会議

#### 議事

事務局：それではこれから精神保健福祉交流促進協会の2025年度理事会・総会を開催します。

最初に理事長からお願いします。

理事長：皆さん、お忙しいところ有り難うございます。

私自身の個人的理由等で十分な活動が出来ず大変申し訳ありません。

この法人は我々精神保健医療福祉の分野において必要と感じており、法人の形態は別として必要な時に稼働できるネットワークがあるということが重要なのではないかと考え、是非とも継続していきたいと考えております。

事務局：それでは議題に沿って進めさせていただきます。

先ず2024年度の事業報告になります。

事業の一つ目はRPJNewsの発行です。これは精神保健福祉の向上を図る活動

## 議題

- ▶ 1) 理事長挨拶
- ▶ 2) 2024年度事業報告
- ▶ 3) 2024年度会計報告
- ▶ 4) 2025年度事業計画と運営方針
- ▶ 5) その他

書式第12号(法第28条関係)

事業報告用

2024年度

事業報告書

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会

#### 1 事業の成果

昨年同様、海外セミナーの開催は自粛しましたが、国内セミナーとして「情報共有セミナー」を実施しました。このセミナーはコロナ禍による組織の孤立化やそれに伴う担当者のバーンアウト防止を目指したものです。そして更に機関紙RPJNewsの充実を図ることで精神保健福祉の発展に寄与しました。

#### 2 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【134.2】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
精神保健福祉の向上を図る活動	係わる人達のリフレッシュとエンパワメントを考えた関連組織の情報発信	毎月末	機関紙面	4	会員及び精神保健関係者	150	0
同上	2024年第1回情報共有セミナー	4月20日 15時～ 19時	AP新橋 港区新橋 1-12-9	2	同上	150	134.2

で、係わる人たちのリフレッシュとエンパワメントを考えた関連組織の情報発信をしております。そして 2024 年度は過去実施した海外セミナーにおいて、現地講師陣の生の声を文字化して報告する事と下記のセミナー報告を中心に毎月発行させていただきました。

次は 2024 年 4 月 20 日に実施した情報共有セミナーです。久々のセミナー開催でしたが、残念なことに 3 日前の 17 日深夜に豊後水道を震源とする地震が発生しました。このため中止も考えましたが、2 日間予定していた日程を 1 日に短縮し実施させていただきました。

セミナーでは尾道での活動、出雲での活動、弘前市での活動、大分県中津市での活動の報告をいただきました。そして RPJNews を通して全国の皆様と情報共有をさせていただきました。

以上事業報告となります。

次は 2024 年度会計報告です。

先ず活動計算書で説明させていただきます。

書式第 13 号（法第 28 条関係）

事業報告用

2024年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人精神保健福祉交流促進協会

（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
【A】	経常収益		
1	受取会費		20,000
	正会員受取会費	20,000	
	賛助会員受取会費		
2	受取寄附金		0
3	受取助成金等		0
	受取補助金	0	
4	事業収益		0
5	その他の収益		95
	受取利息	95	
	経常収益計		20,095
【B】	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		0
	(2) その他経費		134,200
	会議費	134,200	
	事業費計		134,200
2	管理費		
	(1) 人件費		0
	(2) その他経費		38,425
	消耗品費	5,826	
	通信運搬費	30,331	
	雑費	2,268	
	管理費計		38,425
	経常費用計		172,625
	当期経常増減額【A】－【B】・・・①		-152,530
【C】	経常外収益		
	経常外収益計		0
	経常外費用計		0
	当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
	税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		-152,530
	法人税、住民税及び事業税・・・④		
	前期繰越正味財産額・・・⑤		1,502,017
	次期繰越正味財産額③－④+⑤		1,349,487

収益は会費の 2 万円と利息のみです。これはコロナ禍で活動自粛が続いた以降、振込書による会費納入のお願いを差し上げてないことが起因していると思われませんが、繰越金がございますので活動は継続できております。

事業経費としては情報共有セミナーの会場費のみとなります。また管理費として最も大きいのは通信運搬費で、これはホームページを含むネット環境の維持費と年賀状等の郵送費となっております。他に消耗品と雑費に少し経費が掛かっております。

以上となり 2024 年度は 152,530 円のマイナスで、前期繰越金からの差し引きで 2025 年繰越金は 1,349,487 円となります。

貸借対照表・財産目録もご覧のような形となります。

## 2024年度 貸借対照表

特定非営利活動法人精神保健福祉交流促進協会

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	1,349,487	1,349,487
	流動資産合計・・・①		1,349,487
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		0
	(2)無形固定資産		0
	(3)投資その他の資産		0
	固定資産合計・・・②		0
【A】	資産合計 ①+②		1,349,487
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	流動負債合計・・・③		0
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		0
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	1,502,017	
	当期正味財産増減額	-152,530	
	正味財産合計		1,349,487
【B】	負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		1,349,487

## 2024年度 財産目録

特定非営利活動法人精神保健福祉交流促進協会

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金		1,349,487	1,349,487
	手元現金	5,035		
	みずほ銀行普通預金	1,334,016		
	ゆうちょ銀行	10,436		
	未収金	0		0
	棚卸資産	0		0
	流動資産合計・・・①			1,349,487
2	固定資産			
	(1)有形固定資産			
	事業用車両	0		0
	パソコン	0		0
	(2)無形固定資産			
	ソフトウェア	0		0
	借地権	0		0
	(3)投資その他の資産			
	敷金	0		0
	長期貸付金	0		0
	固定資産合計・・・②			0
【A】	資産合計 ①+②			1,349,487
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			
	未払金	0		0
	預り金	0		0
	流動負債合計・・・③			0
2	固定負債			
	長期借入金	0		0
	退職給付引当金	0		0
	固定負債合計・・・④			0
【B-1】	負債合計 ③+④			0
【B-2】	正味財産合計 【A】-【B-1】			1,349,487

以上が 2024 年度事業報告と会計報告となります。

理事長：報告有り難うございます。

皆さん、この様な結果となっておりますがご承認いただけますでしょうか。

全員からご承認いただいたということで、有り難うございました。

事務局：次は 2025 年度の事業計画と運営方針ということで、理事長お願いします。

理事長：皆様には大変申し訳ないのですが、個人的な理由もありアクティブに動くことがままならない状況にあります。しかしこれまでの活動を形にしつつ未来に繋げていく 2025 年になるのではないかと私自身は感じております。NPO 法人から任意団体にとすることも考えないわけではありませんが、繰越金を活用してこれまでの活動をしっかりと形にしていくか、ネットワークをどの様にしていくか、というところで模索の年にしたいと考えております。

その予算の中で、現在イギリスの文章化を仁木さんをお願いしているところですが、ヴィレッジやイタリア・イギリスなど現地で実際に伺った言葉の書籍化を進めたいと考えています。そして役員の皆さま実行委員の皆様を始め一般の方にも販売をして書籍として国立国会図書館に蔵書として納めていただけるようにしたいと考えています。海外の実情を何方かの報告では無く、現地のお話をそのまま翻訳した書籍は他にはなく、大変貴重と考えています。そして各方面からの反応も凄く高いです。今の日本に必要なもの、これからの日本に必要なものばかりで、古い感じは全くしません。

それからヴィレッジの件ですが、ヴィレッジそのものが消滅したと考えています。実は 2019 年に別件でロサンゼルスから来られた先生にヴィレッジの事をお伺いしてみましたが、全く存じ上げないとのことでした。この様な事を考えても、私たちがヴィレッジで学んできたことを書籍化して後世に残していくことが重要では無いかと感じています。

この様に重要な書籍を作成するために予算を使用しつつ、後世に伝えつつ、法人の在り方を 1 年かけてゆっくり模索していきたいと考えております。

事務局：ヴィレッジですが、私も関係者に数通メールを出しましたが全く返事は得られず、状況は不明のままです。

(※総会后白石理事が調べて下さりました。ヴィレッジの親組織である MHALA が、新たな拠点の改修が終了したのでヴィレッジを発展的に解消し新たな場所でドロップインセンターや成人向け統合サービスチームを開始したとの事です。)

別件で国会図書館納付についてですが、我々の協会は国会図書館に事前登録が済んでおり ISSN という登録番号を持っております。そのため一般販売の書籍を作る場合 ISSN の番号を付けて作製し出来次第国会図書館に納付することが義務づけられておりますので、このルールにのっとって納本したいと考えております。

そこで予算の内訳になりますが、去年は入れておりませんでした印刷製本代に 50 万円計上させていただきます。その他会議費等で事業費計は 54 万円としました。管理費では通信運搬費消耗品費等で 4 万 3 千円、当期経常は△582,900 円となり、次期繰越金は 655,119 円となります。

理事長：この様な予算案となっておりますが、皆様いかがでしょうか？ご承認頂けたということでこれからまたしっかり議論する機会も設けながら協会も存続させて行けたらと考えております。必要性を十分に感じてアクティブにやりたいと感じております。今後ともご協力のほど宜しくお願いします。 以上

————— ☆ ————— ☆ —————

#### — 編集後記 —

今月は 2025 年度総会が開催されましたので、その報告号とさせていただきます。そして編集ミスのお詫びです。2025 年 1・2 月合併号において、表記が 2024 年となっておりますこと大変申し訳ございません。その後ホームページ掲載分は修正させていただきますのでご了承ください。(仁木)

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会